

## 1. 2014年大統領選挙

### ▼準備・実施状況

・24日、ドネツク、ルハンスク両州の複数選挙区にて、分離主義グループが選挙区選挙管理委員会の占拠、書類の破棄、輸送の妨害などを実行。  
・25日、オヘンドウスキー中央選管委員長は、ドネツク、ルハンスク両州で投票が可能な選挙区は、ドネツク州で22選挙区のうち7選挙区、ルハンスク州で12選挙区のうち2選挙区のみであり、分離派による占拠や妨害のため上記以外の選挙区選挙管理委員会への投票用紙が運搬できない旨発言。

### ▼開票結果

・29日午後3時(当地時間)の中央選挙管理委員会発表による大統領選挙の暫定開票結果(開票率100%)は、以下のとおり。

ー主要候補の得票率

- |             |         |
|-------------|---------|
| (1)ポロシェンコ:  | 54.70%  |
| (2)ティモシェンコ: | 12.81%  |
| (3)リャシュコ:   | 8.32%   |
| (4)フリツェンコ:  | 5.48%   |
| (5)チヒプコ:    | 5.23%   |
| (6)ドブキン:    | 3.03%   |
| (7)ラビノヴィチ:  | 2.25%   |
| (8)ボホモレツィ:  | 1.91%   |
| (9)シモネンコ:   | 1.51%   |
| (10)チャフニボク: | 1.16%   |
| (11)ヤロシュ:   | 0.70% 等 |

ーその他の候補の得票率は全て0.5%以下。無効票は1.35%。

・投票率は、全体で59.48%。ドネツク州は15.37%、ルハンスク州は38.94%。

### ▼国内反応

・25日、ポロシェンコ候補は、要旨以下のとおり発言。  
ー極めて困難な条件下で投票を行った数千名のクリミア住民、脅威がある中で投票を行ったドンバス住民に感謝。大統領就任後の最初の出張の行き先はドンバス、最初の外遊の行き先はポーランドを検討中。

ー繰り上げ最高会議選挙実施への期待は大きく、同選挙は2014年中に実施されるべき。

・25日、ティモシェンコ候補は、大統領選は民主的かつ公正に行われたとし、欧州的な強い国家の再建に向けて政権と協力する用意がある旨発言。

### ▼国外反応

・26日、OSCEは、同大統領選挙が高い投票率と、国際基準に従い実施され、基本的な自由が尊重され、選挙管理プ

ロセスは公正かつ透明に行われた旨プレスリリースを发出。  
そのほか、米、EU及び欧州各国を中心に、公正な選挙の実施を歓迎する内容の声明を发出。

・26日、ナルイシュキン露国家院議長は、ウクライナ国民の選択を尊重するも、同選挙が完全に自由で民主的であったとは言えない旨発言。

## 2. その他内外政

### ▼政府・最高会議の動き

・25日、外務省は、同日ドヴュージェフ露首相がロシアにより一時的に占領されているクリミア自治共和国及びセヴァストポリ市を訪問したことに関し、抗議声明を发出。

・27日、外務省は、同日、ロシア領土から武装集団が違法入国を行った、同国の国境警備員の怠惰及びロシアがテロリストをウクライナへ送り込んでいるとし非難。

・29日、ナリヴァイチェンコ国家保安庁(SBU)長官は、ジェミレフ前クリミア・タタール民族代表機関「メジュリス」代表に、1944年のソ連による同民族強制移住に関する文書を伝達。ジェミレフ前メジュリス代表は、同文書は歴史研究に大きく貢献する旨発言。

・30日、外務省は、シンフェローポリのクリミア自治共和国内唯一のウクライナ語学校が、ロシア化の圧力を受けているとし非難の声明を发出。

### ▼ポロシェンコ次期大統領発言

・ポロシェンコ候補の大統領選投票終了後の主な発言は以下のとおり。

ー近く、反テロ作戦の動的フェーズが再開される旨、及びロシアによるクリミア編入は決して認めない旨発言(25日)。

ープーチン露大統領が分離主義者に直接影響力を持っていることに全く疑いがない、制裁による圧力が必要である旨、また、NATOの枠外にて、新たな軍事同盟の設立を支持する旨発言(28日)。

### ▼東部・南部の情勢

・24～30日、断続的に、武装集団がロシア領土からウクライナへ違法入国を試み、ウクライナ側国境警備隊と衝突。外務省は、同行為に対する非難声明等を发出、ロシアに対し口上書を送付。また、東部各地で武装集団と治安部隊の衝突が散発。

・27日、OSCE特別監視団の4名がドネツク市で行方不明に。29日、ポノマリヨフ自称「スロヴァヤンスク市長」は、同4名をスパイとして拘束している旨発表。28日、さらに11名の監視団が行方不明されるも、翌日解放。29日、シェヴェロドネツク市でさらにOSCE特別監視団の4名及び通訳1名が行方不明に。



スト38人、民間人2人)した旨発言。

#### ▼露の無人偵察機撃墜

- ・28日、国防省は、化学薬品カプセルを搭載した国籍不明の無人機を撃墜した旨発表。
- ・30日、国家保安庁は、28日に撃墜した無人機は偵察、監視及びモニタリング機能を備えた偵察機であり、露のものである旨発表。

#### ▼その他

- ・26日、国防省は、テロリストがスロヴァンスク付近の二つの村を襲撃し反テロ作戦の信用を失墜させる目的で民間人を攻撃、一方、反テロ作戦に参加している軍はここ24時間、当該村での活動を実施していない旨発表。
- ・27日、コーヴァリ国防相代行は、内閣がウクライナ、リトアニア、ポーランドの合同軍事部隊をレビューに創設する合意文書への署名を決定した旨発言。

- ・27日、大統領府報道局は、クリミアからウクライナ本土に移転された軍事資材は10億ドル以上であり、約4,000人の軍人が移動し、現在もこの移転は継続中である旨発表。
- ・29日、国家警備庁は、スロヴァンスク付近において国家警備庁のMi-8ヘリコプターが撃墜され12名が死亡した旨発表。
- ・30日、コーヴァリ国防相代行は、ウクライナ東部の反テロ作戦において現在までに20人の軍人が死亡、軍人のために最新型防弾チョッキ24,000着を購入、徴兵制により招集された兵員のウクライナ東部への派遣はない等発言。

(了)